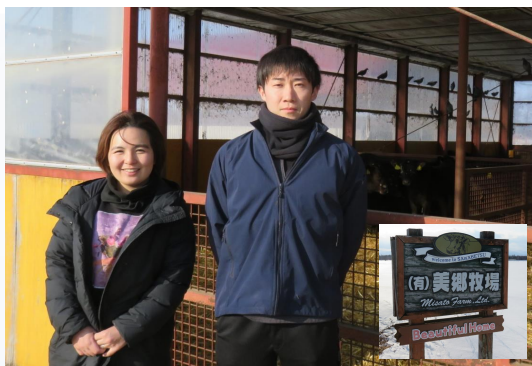


十勝地域 新規就農者紹介

(有)美郷牧場 佐藤亮介さん 春佳さん



経営の概要

就農地域：北海道 更別村

就農方法：第三者継承

営農開始：2023年5月

営農形態：和牛 繁殖肥育一貫経営

飼養頭数：180頭

➤ 経営耕地面積：41ha

➤ 農業従事者：夫、妻の2名

(取材日：令和8年2月16日)

✓美郷牧場 佐藤亮介さん、春佳さんのこと

代表取締役の亮介さんは北海道江別市出身で、農業関連会社の飼料製造部門で技術者として10年勤務した後、かねてより興味のあった農業に挑戦することを決意しました。

取締役の春佳さんは神奈川県川崎市出身で、動物が好きで北海道の大学へ進学。亮介さんと同じ会社に勤務し、業務で牛の世話や畜産農家と関わる中で畜産への興味が大きくなり、就農を決意しました。

亮介さんにも農業に関心があることを知った春佳さんは、札幌市で行われた就農フェアに参加し、コーディネーターから、更別村で後継者を探している和牛一貫経営の(有)美郷牧場を紹介されました。交際していたお二人は「更別村なら仕事で訪れたことがある、行ってみよう」と、経営者との面談、体験研修、翌年には本格的な研修の前に結婚し更別村に移住。1年間の研修後に従業員として勤務し、トントン拍子に事業継承が実現しました。

✓就農のきっかけ

春佳さんは、仕事で牛の世話をしつつ農家の生活を間近で見ると、畜産に惹かれていきました。仕事上お付き合いのあった方からの「もし牛を飼いたいならやってみないと後悔するよ」との言葉に背中を押され就農へ動き出します。

亮介さんにも転機が訪れます。勤務先の統廃合が決まり転勤(配置転換)が必至となる中、春佳さんとの将来が思い描けず、二人での就農を選択肢の一つとして考えるようになりました。

✓就農を振り返って

お二人は、「肉牛経営の法人を第三者が継承するというほとんど例のないケースでしたが、多くの方々の協力で就農が実現しました。既に当法人が認定農業者であったため、代表者の交代が新規就農と認められず、国の新規就農者支援を受けられなかったことや、株式譲渡費用の大きさは想定外でしたが、今後地道に営農を続け、一農家として経営スタイルを確立することが目標です。

最も大変だったのは営農と子育ての両立で、せめてどちらかの親が近くに住んでいれば、と何度も思いました。幸い、今はお互いの親が定期的に手伝いに来てくれて生活面での協力が得られ生活リズムが安定しつつあります。今後は親子3人で出かける時間も増やしていけるといいですね。

経営が軌道に乗ったら、研修生受入や自社ブランド『さらべつ和牛』の販売にチャレンジし、多くの方に私たちの取組を知ってもらいたいと考えています。2027年の全国和牛能力共進会の出場にも憧れつつ、まずは地に足をつけた経営をしていきたい」と話されました。

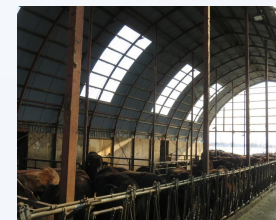
✓新規就農を目指すみなさんへ 佐藤さんからエール

まずは、やってダメなら仕方がないぐらいの緩やかな気持ちで、現場を見て、農家の生活を実感してみてください。就農のスタートとして法人へ就職し、その中で、やりたいことを明確にしていくことも良いと思います。また、後継者を探す側は後継者候補を見る目がより真剣になるため、就農を希望する方は少しでも農業との関わりがあると受け入れてもらい易くなるかもしれません。

畜産経営は、経験や幅広い技術が求められますが、その分やりがいのある仕事だと実感しています。

✓地域の応援団から一言

亮介さん、春佳さんと出会えたことは運が良かったし、本当に感謝しています。牧場を引き継いでくれるのはお二人しかいないと思いました。心構えとバイタリティーは素晴らしく、仕事の飲み込みも早かったです。今は、しっかり営農されていて安心しています。体力勝負の仕事なので、怪我なく健康で頑張ってください。(前代表 富永章嗣さん)



育成牛舎



育成中の子牛たち



出荷を待つ和牛